



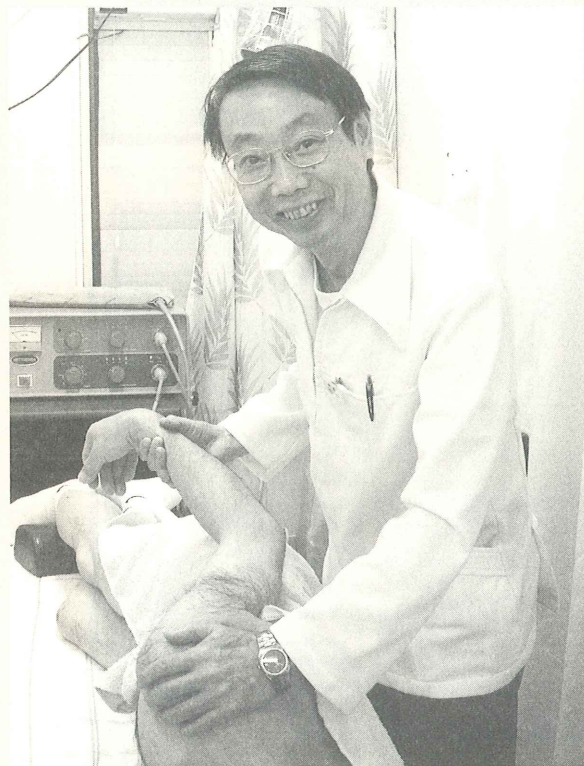
総合療法で全身のバランスを整え、  
自然治癒力を引き出す

東洋医学の臨床を始めて34年、「東洋医学には、疲労や痛みを取り、いつまでも若々しい体を保つためのノウハウがいっぱい詰まっている」ことを伝授する。

村川 尊美 先生

PROFILE

むらかわ・たかみ ■千葉工業大学在学中に日本指圧学校へ入学、浪越指圧を学ぶ。あん摩マッサージ指圧師免許取得後、北里大学薬学部へ入学し、漢方を学ぶ。薬剤師免許取得後、薬剤師に就任。さらに鍼師・きゅう師、柔道整復師免許を取得し、1989年、神奈川県川崎市にイスクラ鍼灸指圧治療院・接骨院を開院。東洋医学へ深く精通し、長い治療実績から、全身のバランスを整え、自然治癒力を引き出す独自の総合療法「K123活性化療法」を開発した。治療の傍ら、ボランティアで介護予防教室やストレッチ体操教室を開くなど、精力的な活動を続けている。



鍼灸師、柔整師、指圧師、薬剤師……  
七つの顔を持つ男？

「治療しているときに、人生で一番楽しいと感じる。また、難しい治療であればあるほど、私のやる気は火がつかますね」

と、根っからの「治療魔」ぶりを自負する村川先生。これまで学んだ知識と身につけた技術で、一人でも多くの患者を治療したいという。

人当たりの柔らかさと柔らかな表情からは、内に秘めた思いの強さを感じさせないが、その異色の経歴を知ると驚かされる。

千葉工業大学在学中に日本指圧学校へ入学し、「指圧の心は母心、押せば命の泉湧く」の決め台詞で知られた故・浪越徳治郎氏より指圧を学ぶ。あん摩マッサージ指圧師免許証を受領すると同時

に、今度は北里大学薬学部へ入学し、薬剤師免許を取得。いったんは、薬剤師として社会人のスタートを切るが、中国医学に深く魅せられた村川先生、さらに鍼師・きゅう師免許を取り、さらにさらに柔道整復師免許まで取得して、川崎市にイスクラ鍼灸指圧治療院・接骨院を開いたのが1989年、38歳のときのこと。以来20年、独自の治療法で、子どもからお年寄りまで、延べ30万人の治療に当たってきた。

人の体は「小宇宙」  
まだまだわからないことがある

村川先生が東洋医学の臨床を始めて34年、「東洋医学には、体の疲労や痛みを取り、いつまでも若々しい体を保つためのノウハウがいっぱい詰まっていることをますます実感する」という。

特に昨今は、西洋医学の行き詰まりから、東洋医学が注目を集めるようになってきたことも背景にある。

「東洋医学では、人の体をひとつの小宇宙ととらえます」

人体は、それだけ広く、深い。と同時に、「まだまだ人体にはわからないこともいっぱいあります」

だから、まずは、慎重に患者の話に耳を傾けるところから、治療は始まる。一人ひとり、抱える症状や痛みはさまざま。すでに、病院に通っている人も少なくない。だが、病院の診断をそのまま鵜呑みにはしない。生活ぶりや仕事の中身なども大切なデータだから、じっくり話を聞く。座っている姿勢はどうか、左右のバランスなどをみる。足をそろえて座っているはずが、左右の長さ

(けいけつ<sup>二</sup>つば<sup>一</sup>・経絡)に刺激を与えて、体内の気(生命エネルギー)や血(血液)のめぐりを整え、機能を正常に回復させ、体の歪みを治す。

「人は本来、自分で自分の体を正常に保つ力を持っていますが、何らかの要因で、体のバランスが崩れると、この自然治癒力が衰えます。私は、バランスを整えることで、自然治癒力を正常に戻すお手伝いをしているというわけです」

村川先生の口癖のひとつが、「薬に頼るのはやめましょう」というもの。

「病気によっては薬が欠かせません。しかし、薬に依存し過ぎるのは怖いこと。副作用もありますからね。完全に服用をやめることができなくとも、量を減らすことはできるはず。薬は対症療法が多く、根本的な治療でない場合があります」

薬剤師の免許を持つ村川先生にこういわれる

が違っていたりすることも。そして脈をみる。この段階で、どこが悪いのか、ほぼ見当がついてくる。ここで治療方針と治療内容を説明し、納得してもらってから治療に入る。

「体の異常は、痛み、しびれから始まります。バランスをみてあげて、これはどこから来ている、などと説明するわけです」

### 症状の要因を見つめ、 根本治療を目指す

イスクラ鍼灸指圧治療院・接骨院では、症状や要因に合わせて、さまざまな治療を行う。中国医学の按圧法・摩法・関節屈伸法・回旋法・呼吸法、そこに日本古来の柔道整復術や指圧、さらにはパルス・鍼・お灸などの物理療法も加わる。これらさまざまな手法を用いることにより、特定の経穴

と、患者も心底納得するという。

実は、患者自身も薬の服用に関しては結構慎重



患者との対話も治療の要となる

なところがあつて、病院で処方された薬をすべていわれた通りに服用しているケースは少ないという。そこで、村川先生は、「私のところで治療しますので、薬を減らしてください」と病院の医師に手紙を書いてあげることもあるという。

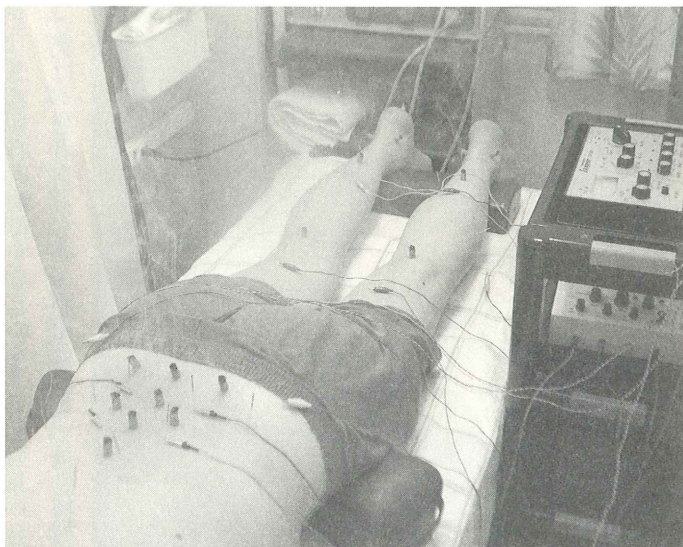
## 東洋医学へ深く精通し、「K123 活性化療法」を開発

30年を超える治療経験から、村川先生が独自に開発したのが総合治療法の「K123 活性化療法」である。Kとは、「経穴（けいけつ）・経絡（けいらく）・気血（きけつ）」のKであり、123は、3段階の治療、つまり、1段目の鍼灸治療、2段目の経絡治療、3段目の気血治療を表している。

鍼灸で経穴治療を施し、指圧などの手技療法で経絡治療を施し、おき鍼で気血治療を施す。その

流れは、「経穴・経絡を調整する」「気血のバランスを整える」「自然治癒力が活性化する」「いつの間にか体の歪みが整い、慢性疾患が改善する」というもの。特に症状の重い患者が対象となる総合治療法である。

「もともと得意なのは指圧で、最初は経絡治療が中心でした。これでも、ある程度の効果は出るのですが、ここにポイント的なものを加えることで相乗効果が期待できることがわかってきました。それが鍼灸であり、おき鍼です。治療期間が空くと、効果が薄れがち。そこをカバーするのがおき鍼です。どこへ通っても治療の効果が出ないとか、難病や、整形外科でもダメな人にすすめています」  
もう少し詳しく、「K123 活性化療法」についてみてみよう。まず、適応症としては、以下のようなものが挙げられる（WHO 認定の適応症に



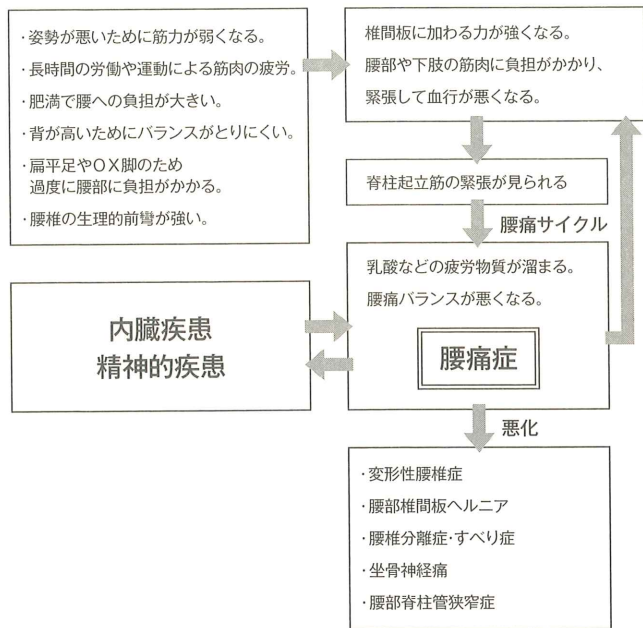
体の歪みを総合的に治療する K123 活性化療法

順ずる)。

- 運動器系……肩こり、首や肩の痛み、関節リウマチ、打撲と捻挫、変形性膝関節症など
- 神経系……頭痛、偏頭痛、腰痛、坐骨神経痛、術後の痛み、三叉神経痛、顔面神経麻痺など
- 呼吸器系……慢性副鼻腔炎、蓄膿症、気管支喘息など
- 血管系……高血圧、低血圧、不整脈、心臓神経症など
- 泌尿器系……夜尿症、尿失禁、尿閉など
- 産婦人科系……月経困難症、分娩の誘発、月経の異常、女性の不妊症など
- 自律神経失調症（不安・集中力がない・イライラする・食欲がない・記憶力や注意力の低下など）
- 全身症状（全身の倦怠感・疲れやすい・めまい・

## 腰痛の原因とサイクル

腰痛が改善されにくいのは、「腰痛サイクル」とも呼ぶべき悪循環が要因。「K123活性化療法」を施すことにより、血行が正常に廻り腰痛サイクルの鎖が切れ、腰部のバランスが維持され、歪みが整って慢性腰痛が改善する。



脊柱起立筋は姿勢・疲労・精神的ストレス・冷えなどにより、筋肉に負担がかかり、血行が悪くなり、酸素や栄養素の末梢まで行かず、乳酸やプロスタグランジンなどの発痛物質が蓄積し、緊張が慢性化する。

また、椎間板に加わる力や加齢変化が原因となり、腰痛サイクルとなる。腰痛サイクルが悪化すると腰椎に変形が生じたり、神経の圧迫などが顕著になったりする。

フラフラする・食欲がない・眠れないなど)  
●その他……下痢、便秘、脳卒中後の片麻痺、メニエール症候群、近視、過敏性腸症候群など

「K123活性化療法」は、さらに患者の症状に合わせて、「腰痛」専科、「肩こり」専科、「自律神経失調症」専科の3つに分類される。治療時間は60分から70分ほど。

週1回から2回の治療で10年来の苦痛が治ってしまうという場合もあるが、だいたいはじんわりと効いて、いつの間にか治っている、というのが「K123活性化療法」の特徴である。

症状と体質、年齢などにより異なるが、慢性化したものは、最低3カ月は治療を続けてほしいと村川先生はいう。その上で、さらに半年、1年、場合によっては数年の治療が必要な場合もある。

## 治療の流れ

～(例)自律神経失調症の場合～

- (1)受付にて問診表に記入
- (2)問診、脈診、徒手検査で歪みの原因を特定する
- (3)症状に合わせて経穴(つぼ)に鍼・灸または干渉電流治療を行う
- (4)症状に合わせて経絡に指圧などの手技治療を行う
- (5)反応点におき鍼をする
- (6)歪みをチェック

「すぐに効果が出ない場合、患者さんが不安になることもあります。でも、途中で治療を中止すると、それまでの治療が無駄になります。また、痛みが消えても完治ではありません。根本的に病気の原因を治療しないと再発して治りにくくなるのです。現代医学では難治といわれた病気でも克服できた人はたくさんいますが、それは、辛抱強く治療を続けた結果なのです」

長年にわたって苦しんできた痛みが1回や2回で消えてしまうことのほうが不自然というわけだ。ときには、腰痛が緩和されたと思った途端、膝痛が出るといったこともあるという。

「人は、体の一箇所に大きな痛みがあると、他の痛みを感じないものです。大きな痛みが和らいだことで、他の小さな痛みを感じるようになっただけなのです」

しかも、私たちの体は、骨や筋肉や内臓が緻密につながってできている。そのバランスが崩れたときに現われるさまざまな痛みや症状、それは危険を知らせる黄信号のようなものなのだろう。

「だからこそ、体全体を診てあげないと根本的な治療とはいえません」

村川先生が、長い治療経験の結果、行き着いたのが、「K123活性化療法」という総合療法だったことも、これで納得ができる。

「K123活性化療法」は、長い経験に裏づけされた画期的な療法だが、私たちの体にどのような反応が現われるのだろうか。また、副作用的なものはないのだろうか。

「治療後、体内の筋骨への気・血のめぐりが良くなり、リラックスした状態になります。しかし、まれにだるさや、さまざまな症状が出ることもあ

### 階段の上り下りが楽に

「膝に痛みがあり、通院するようになりました。階段の上り下りにも苦労していたのですが、治療をしているおかげで、今ではだいぶ楽に階段も上り下りできるようになりました。負担も安く治療してくださるので、先生方にも感謝しています」(70代・男性)

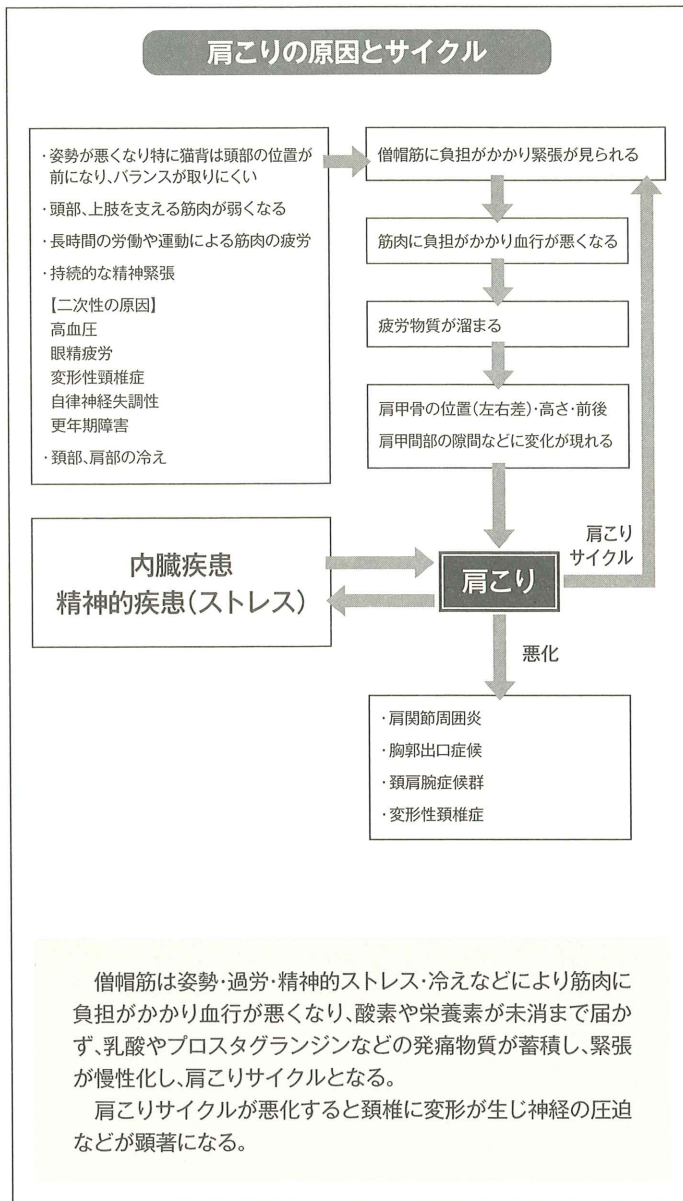
### 足がづらなくなつた

「私は腰痛と足のふくらはぎがだるいので通院しています。親切でいいねいに治療してもらえるので、安心して通っています。ずいぶん体が軽くなり、足がづらなくなりました。雰囲気もよく通いやすいので、今でも喜んで通っています」(40代・女性)

### ひどい肩こりと頭痛が改善

「ひどい肩こりに頭痛もひどく、数年前から不眠に悩まされてきました。村川先生に、いろいろと話を聞いていただき、自分が間違っていた知識を持つていたことを知りました。全身をみてくれるので、肩こりのことだけでなく、自分の体の状態を知ることができました。院長先生をはじめ、皆さんが親切に接してくださるので、本当に感謝です」(30代女性)





ります。中国医学では、これを『瞑眩(めんけん)』  
 といって、治っていくひとつの現象(過程)な  
 で心配はありません」  
 もちろん、習慣性や副作用もないので安心だ。  
**治療のかたわら、  
 高齢者向けの予防教室も開催**  
 こうして、治療し、痛みを除き、体のバランス  
 を正常な状態に戻すまでを行う村川先生。しかし、  
 実は、それだけでは不十分なのだという。  
 「高齢者の場合、年々筋肉が落ちていきますが、  
 治療ではそこまでカバーすることはできません。  
 自分の体を支える筋肉を維持することが大切です」  
 そこで、体を動かしながら筋肉を強化する経絡  
 ストレッチ体操、ケアリズム、ケアダンス、アン

チエイジングつばなど、毎月第1水曜日は院内で  
 第3水曜日はケアプラザで介護予防教室を開いて  
 いる。こちらの活動は、NPO活動の一環として  
 の完全なボランティア(無償奉仕)である。しか  
 し、教室に通う患者から、階段を下りるのが苦し  
 にならなくなった、などの感謝の声を聞くのがうれ  
 しい。実は、そうになると、治療の効果もさらに期  
 待できるのだという。  
 「『いくら治療しても生まれつきの体質だから、  
 どうしようもないね』といわれる方も少なくあり  
 ませんが、東洋医学では、体質は2つあると考え  
 ます。ひとつは、生まれながらの「先天的体質」で、  
 もうひとつが「後天的体質」です。後者は、生活  
 習慣などによりつくられた体質です。体質だから  
 といってあきらめることなく、日頃の生活を振り  
 返り、反省すべきところはないか、一度考えてみ

てほしいものです」

と村川先生。

「ただ、治療にせっかちは禁物です」

## 治療には限界がある 初期判断を誤らないこと

医師から治癒困難といわれたような患者が、村川先生の治療で見違えるように元気になった例も少なくない。しかし、村川先生はあくまで謙虚さを失わない。

「治療には限界があります。それを知ることが大切。場合によっては、命に関わることもあるのですから、初期判断が非常に重要になります」

先生のほうから病院を紹介するケースもある。そのために、日ごろから近隣の病院との間にネットワークもつくつてある。

悩みがあるという。

「私たちの業界は『学』ではなく『術』の世界。治療を行う際に、どれだけ患者さんの体から多くの情報を読み取るハンドセンサーを持っているかが問われます。しかし、これは教えて身につくというものではありません。知識や長年の経験によって培われる場合もありますが、生まれつきの部分もあります。長い年月をかけて身につけた知識や経験を何とか後の世代に引き継いでもらいたいとは思いますが、残念ながら、一代限りというのが正直なところですね」

いやいや、村川先生の患者と接する態度や思い、治療にかける熱意と努力は、父の背中を見て育ってきたご子息なら、きつと受け継いでくれるはずだ。

「間違つて、私のところで余計な時間をかけてしまつては、助かる命も助からない」ことを肝に銘じているのだそうだ。

そんな真摯な態度も、施術者に求められる資質の一つといえるだろう。何より、患者との間に信頼関係がなければ、治療の効果も期待できないからだ。

幸い、院を開いて以来、20年来通つてくる人もいる。中には90歳を超す高齢者もいる。こうなると、もう、患者の人生そのものとの付き合いといつてよいだろう。

## ハンドセンサー能力で、 体から多くの情報を読み取る

ところで、現在、村川先生のご子息が先生の後を継ぐために学校に通っている。うれしい反面、

## DATA

### イスクラ鍼灸指圧治療院・接骨院

〒212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町3-55  
JR東海道線 川崎駅下車 またはJR南武線 尻手駅下車  
TEL.044-533-5366  
http://www.5364.jp

#### 診療時間

月・火・木・金	9:00~12:30 15:00~19:00
第1水・土	9:00~12:30
日	9:00~12:00

※第2~5水・土、祝日休診



ギックリ腰 椎間板ヘルニア

脊柱管狭窄症 坐骨神経痛 を治す

# 腰痛治療

現代書林特別取材班 編著

プロフェッショナル12人

## あなたの腰痛は なぜ治らなかったのか？

### 長年の痛みを取りのぞく 専門家が語る治療の真髄

つらい痛みから救われた腰痛患者の声多数掲載

ギックリ腰・椎間板ヘルニア・  
脊柱管狭窄症・坐骨神経痛を治す

腰痛治療

プロフェッショナル12人



9784774512679



1920047012004

ISBN978-4-7745-1267-9  
C0047 ¥1200E

定価：本体 1200円(税別)  
現代書林

ギックリ腰 椎間板ヘルニア  
脊柱管狭窄症 坐骨神経痛 を治す

# 腰痛治療

プロフェッショナル12人

## 腰痛治療プロフェッショナル12人の 独自治療の数々

- MT-MPS.....綾田 剣一 先生
- 石川式ナチュラル矯正法.....石川 博隆 先生
- K123活性化療法.....村川 尊美 先生
- 是枝式脊椎・骨盤矯正法.....是枝 稔彦 先生
- 股関節矯正&頭蓋骨矯正.....大庭 剛 先生
- かつ式整体.....高橋 克浩 先生
- スパイラルテーピング療法.....金井 克行 先生
- 筋・筋膜摩擦伸張法.....久我 徹 先生
- 金式正座健康運動.....金 聖一 先生
- 魔法のテープ.....田中 慎司 先生
- 深層筋活性化療法.....小林 敬和 先生
- EFバランス修正法.....齋藤 剛 先生